

△産業宣教/第 10 次世界公務員宣教大会 1 講「サタンをやぐらを破壊しなさい」 (I 列 18:1-15)	△レムナント伝道学/第 10 次世界公務員宣教大会 2 講「神様のやぐらを作りなさい」 (ダニ 1:8-9)	△核心/第 10 次世界公務員宣教大会 3 講「見張り人のやぐらを作りなさい」(使 1:6-7)	△散らされた弟子たち 散らされた者の アイデンティティ(使 11:19)
<p>□序論_御座の力を公務員に一番最初に、最も大きく与えられた。日が経つにつれ、全世界が暗闇に覆われる。御座の力を知る私たちにすべての責任がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 王が宗教と偶像神殿を作って政治を続けて行く。 2. レムナント 7 人が公務員の中に入って行って、おもに王を相手にした。 3. 公務員 問題が来るたびに神様は公務員を用いられた。公務員になるようにされたか、他の公務員を間接的に活用して世界福音化するようにされた。 <p>□本論_オバデヤ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 霊的運動(霊的な力を備えなさい) <ol style="list-style-type: none"> 1) 主のみことばが臨んだ。 2) わざわい時代(偽り預言者 850 人)にみことばが臨んだ。 3) 預言者 100 人をオバデヤが隠したのだ。 4) 難しいとき、アハブ王が依頼するほどオバデヤは実力があつた。 5) 「私がここにいるとだけ話しなさい。するとアハブ王が来るだろう」というエリヤの依頼に 15 節に「万軍の主は生きておられる。私は必ず、今日、アハブ王の前に出る」と言った。このときから大きな働きが起こる。公務員は仕えながら、すべてをみなすことができる。霊的力がなければならぬ。 2. 霊的戦い(勝利) <ol style="list-style-type: none"> 1) エリヤとアハブが会うようになったのだ。だれがまことの神なのか明らかにする対決提案 2) カルメル山に預言者をみな集めた。私たちの霊的戦いは全く表に出ないで仕えるように見えるが、神様の力が現れる霊的戦いだ。霊的勝利からするのだ。未信者と公務員の中にいる重要な人々は、重要な<u>証拠</u>を見なければ絶対に動くことはできない。 3) わざわいを止めること 公務員の皆さんの重要な祈りの力、福音の力で霊的な戦いをして、サタンをやぐらを崩すのだ。 3. 目に見えない霊的征服が残っている。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 逃げたエリヤがエニシダの木の下に倒れた。このとき、神様が御使いを送って力を与えてくださった。 2) 神様がかすかな細い声でみことばを語られる中で答えを与えられた。祈りの力は大きいのだ。 3) エリヤを立て残っている 7 千人弟子がいた。 <p>□結論_ドタンの町運動</p> <p>これから、皆さんとレムナントを通して、ドタンの町運動が起こるだろう。他のことは関係なく、価値だけ知って、霊的な部分だけ本当に分かれれば勝利する。</p>	<p>祈りは三位一体の神様の臨在を味わって、霊的状态を味わって世の中を変えることだ。御座の祝福で時代を生かすことだ。この祈りを味わえば 5 力が生まれるので、祈りで神様のやぐらを作りなさい。</p> <p>□序論_時空超越する祈り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創 37:11 ヤコブとヨセフの祈り 2. 出 2:1-10 ヨケベデとモーセの祈り 3. ハンナとサムエルの祈り 4. エッサイとダビデの祈り 5. エリヤとエリシャの祈り <p>□本論_バビロンに捕虜になったとき、時空超越祈り=神様のやぐらを建てる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ダニ 3:8-24 シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ <ol style="list-style-type: none"> 1) ダニ 1:8-9 イザヤが預言した契約を正確に握っていた。 2) 偶像と関係した強大国は今でも起きる。 3) 暗闇とサタンをやぐらを崩して神様のやぐらを建てる 2. ダニエル(ただ 6:10) 神様のやぐらから来る知恵-王たちに影響 <ol style="list-style-type: none"> 1) ネブカドネツアル王 2) ベルシャツアル王 3) ダレイオス王 3. エステル <ol style="list-style-type: none"> 1) エス 2:10 ユダヤ人であることを話さな 2) エス 4:1-16 今、ユダヤ人であることを話せ。 3) エス 9:20-32 プリムの日 <p>△これが公務員が持っている力だ。御座の力、時空超越、神様のやぐらを建てることを待ちなさい。するとまちがいなく人を生かすことが起こる。</p> <p>□結論</p> <p>キリストの救いで三位一体の神様が私たちとともにおられ、御座の力がともにある。これをやぐらとして建てて 3 時代を生かすようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. これを味わえば、すばらしい知恵と驚くべき力が生まれる。 2. 職業に人を生かすことができる見張り台ができて、アンテナが作られる。 3. 3・9・3 祝福伝達 	<p>見張り人のやぐらを建てること(使 1:6-7 <u>属国</u>)、8) -属国になったので弟子が国を回復するのはこの時かと尋ねて、イエス様はあなたがたは知らなくても良くて、力から先に備えろと言われた。</p> <p>神様のみことばは未信者も理解できる部分、救われた者だけが分かる部分、救われた者もよく分からない<u>霊的世界</u>がある。この集中ができないと<u>分裂、執着、中毒</u>に陥る。</p> <p>次世代が生きる 2030-2080 に霊的問題はさらに深刻化するだろう。それゆえ、金土日時代を開きなさいということで、祈りに<u>集中</u>できる綱を見つけ出さなければならない。</p> <p>私は集中方法を<u>呼吸</u>です。どこでも可能で集中するのに一番良い。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ローマが <u>237</u> を動かす国だからイスラエルを<u>属国</u>にされた。 <ul style="list-style-type: none"> △祈りを悟れば 237 を疎通できるのに、悟れないから奴隷で行くこと 2. 皆さん通じて光の経済、光の文化、光の次世代を立てるのだ。 3. 三位一体の神様が私に働かれたのがプラットフォーム、他の人に光を照らすことが見張り台、人々が生かされて霊的疎通が起こるのがアンテナ <p>□本論_初代教会はローマ福音化に公務員活用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 隠れた弟子化運動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 1:1、3、8 キリスト、神の国、ただ聖霊の理由を分かる者 2) カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋 3) 三つの祭り理解、味わう 4) 3・9・3 5) ここから出るミッション、旅程を分かる者 2. 隠れた癒やし運動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 間違ったことで刻印されている未信者-変えること、見つけること、味わうことを教えなければならない。 2) 少しよく信じるという人々-律法、伝統、制度に陥っている。 3) 使 13:5-12、16:16-18、19:8-20 シャーマニズム、占術、宗教生活による霊的問題と病気になっている人々を助けなければならない。 3. 隠れた未来運動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 17:1 キリストの当為性説明 2) 使 18:4 礼拝、祈りを教えるべき 3) 使 19:8 答えの基準は神の国が臨むこと <p>□結論_公務員、レムナントを通して起こったローマ福音化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Heavenly の力で生きなければならない。 2. これを越えて Thronely が出てきた 3. Eternally Power、Talent、Mission <p>△皆さんが味わって次世代に伝達しなければならない。一人だけ弟子を立てて出てきてもかまわない。皆さん自体が光で、塩だ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 残りの者のアイデンティティ <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 1:1 変えること神様のことではないことで刻印されたのを変えてあげること 2) 使 1:3 「神の国のこと」を見つけること 3) 使 1:8 味わうこと「エルサレム離れないで、父の約束を待ちなさい。ただ聖霊に満たされれば力が生まれる。そうすれば、証人になる」 2. 巡礼者のアイデンティティ <ol style="list-style-type: none"> 1) あらゆる事を受容すべき(使 1:14-15) 2) 神様の力を持って超越すべき(使 2:1-4) 3) その理由は答えを見つけたのだから(使 2:9-11、17-18) 3. 征服者のアイデンティティ <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 8:4-8 サマリアを生かした 2) 使 11:19 患難のとき、全世界を生かす門を開けた 3) 使 13:1-12、16:16-18、19:8-20、17:1、18:4、19:8 最初の宣教師として派遣されて暗闇を征服、医師も癒やせない病気を治してしまつた。悪霊につかれた人を治してしまつた。各種の不治の病気に苦しめられる者を治してしまつた。そのあとで、「会堂へ」 <p>□結論_「伝道弟子サミット」伝道する弟子の最高段階</p>

△区域メッセージ (第 28 週) 霊的独立 (みことば) と 25 の答え (創 12:1-4)	△聖日 1 部礼拝 今がその時刻表 (Ⅱ コリ 6:1-13)	△聖日 2 部礼拝 生きておられる神の神殿 (Ⅱ コリ 6:14-18)
<p>創 12:1-4 に神様がアブラハムに土地、親族、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい。あなたに立ちはだかる者はいない。あなたの子孫によって、国々が祝福を受けるようになると言われた。アブラハムが神様を信じないのではないが、根本的に神様のみことばの前に立った時はアブラハムは完全に間違っただ。創 13 章にアブラハムが祭壇を築き始めた (創 13:18)。「霊的独立」というのは、霊的力を持ってどこでも生き残ることだ。</p> <p>□序論_みことば 霊的なことは目に見えないので、答えになることがみことばを握ることだ。</p> <p>1. 間違っただこと (創 3、6、11 章) 大部分は間違っただことを選択する。あなたが神のようになるという創 3 章、あなたに力が現れる創 6 章、成功してバベルの塔を築くことが創 11 章</p> <p>2. 間違っただこと (偶像) 間違っただことを握るので間違っただことをするようになる。その地域は大きい偶像の町として、ここに陥ってしまう。</p> <p>3. 間違っただ決定 (創 12:10) 神様の人であるアブラハムまで間違っただ決定をする。わたしが示す地に行きなさいと言われたがエジプトに行った。</p> <p>□本論</p> <p>1. 神様のみことば</p> <p>1) 人 (創 37 章) 大部分は人の話を信じて、神様のみことばを信じるのが大変だ。</p> <p>2) 夢 (創 37:6-9) ヨセフが神様の契約を確かに握ったから、夢にも出てきたのだ。</p> <p>3) 心 (創 37:11) 神様のみことばを心にとどめた。心に込めた。</p> <p>2. 生活 (中に) 神様のみことばをとどめるだけではなく、私の人生がその中にあるだけすれば良い。</p> <p>1) 危機が機会になる。アブラハム、ヨセフに問題が来たが、機会だった。</p> <p>2) 世の中を恐れなくなる。中にいるから。</p> <p>3) 世の中を見くびることもない。サタンがずっと触って来るからだ。</p> <p>3. この祝福を味わえば、だれも助けなくても証人になる成功がくる。</p> <p>1) 三位一体の神様の働きと御座の力が私のことなので、この祝福が臨むこと</p> <p>2) 神の子どもの身分と権威がある。ここに証人になるのだ。</p> <p>3) この御座と身分、権威が私たちの背景になるのだ。</p> <p>□結論</p> <p>1. WITH 神様が私たちとともにおられる証拠がくる。このときからアブラハムには世の中も見えて全部見え始めた。</p> <p>2. Immanuel インマヌエルの祝福が来る。</p> <p>3. Oneness 正確に契約を握って祈っていれば、今あったすべての問題が答えに変わる。それをワンネスと言う。</p>	<p>□序論_私たちは何をしなければならぬのだろうか</p> <p>1. 子どもたちの庭をなくしたヘロデ神殿はイエス様が預言されたとおり崩れた。</p> <p>2. イエス様が十字架を負って行かれるときに泣く女たちに向かって「わたしのために泣かずに、あなたの子どもたちのために泣きなさい」</p> <p>3. 復活されてペテロを訪ねられたイエス様がなさったみことば、「わたしの子羊を飼いなさい」 私たちの次世代は一度も霊的世界を知らずに勉強している。これを今、教えなければ、霊的に死ぬのに動物と全く同じだ。</p> <p>4. 戦争のとき、孤児を呼んで集めて両親のように祈って助けたジョージ・ミュラーを最も尊く用いられた神様</p> <p>5. パウロがコリント教会に送った霊的メッセージ</p> <p>1) 今は恵みの時、今は救いの日です (2 節)</p> <p>2) 神様が語られる部分に心の目を開きなさい (13 節)</p> <p>3) コリントのプリスカ夫婦とパウロが会って会堂に入った。</p> <p>※霊的なこと分らない次世代に金土日時代を開いて、この契約を伝達しなければならぬ。</p> <p>□本論_三つの福音化</p> <p>1. 過去福音化 (2 節) 過去に捕えられてはならない。過去を福音化しなければならぬ。</p> <p>1) 過去の霊的問題を断ち切るべき</p> <p>2) 次世代を生かさなければならぬ (コリント教会のプリスカ夫婦)</p> <p>3) エジプト時代に契約を持っていた一人一人が過去のすべての呪いを断ち切った。</p> <p>4) 次世代が暗闇の権威から完全に解放されるべき</p> <p>2. 今日福音化</p> <p>1) どんなことも問題にならない。関係ない。心配してはならない (4-6 節)。大いなる忍耐、患難、窮乏、苦難が問題にならない。むち打ち、入獄、騒乱、疲れ果てた時、眠れない時、食べられないことが関係ないということだ。純潔、知識、寛容、親切、聖霊、偽りのない愛によってして、心配しないように。はやく私たちの次世代に伝達しなければならぬ。</p> <p>2) だまされてはならない。すべてのものを持っている者だ (7-10 節)</p> <p>3) 神様の契約を握りなさい。</p> <p>3. 未来福音化</p> <p>1) AD70、イスラエル滅亡、皆さんの次世代がどこに行ってもどんなことにあっても生き残るべき。そして、世界福音化するのだ。</p> <p>2) AD79、ローマのポンペイ爆発</p> <p>3) AD313、ローマがキリスト教を国教として宣言 準備しなさいということだ。それが未来福音化だ。</p> <p>△契約だけ正しく握っても良い。次世代が完全に傷と過去から抜け出して勝利する神の子どもにさせなければならぬ。</p> <p>□結論_一週間三つのことをしてみなさい。</p> <p>1. 6 日キャンペーン—このようなき、神様はどうされるのだろうか</p> <p>2. 3・9・3 が私のいのち、私のたましい、私の中に臨むように祈ってみなさい。</p> <p>3. 金土日時代を開こう。</p>	<p>Ⅰ コリ 3:16 あなたがたは神様の神殿→霊的成長を話して行ったこと</p> <p>Ⅱ コリ 6:16 私たちは生きておられる神様の神殿→偶像神殿 (ペリアル) に次世代が引かずに連れて行ってでも良いのか</p> <p>三つの庭、金土日時代、237-5000 種族を話す理由を分からなければならぬ</p> <p>24 システムを準備しておいて祈れば多くの人が生かされる</p> <p>専門家、障がい者が行く所がない</p> <p>△237-5000 種族が来るしかないようにさせることが聖書の使命だ。</p> <p>□序論_回復すること</p> <p>1. 世界福音化の奥義を教えるべき</p> <p>1) 御座の力 2) 時空超越</p> <p>3) 237 が起こるのを分かるようにしなければならぬ。</p> <p>△御座を動かすことが祈りだ。ここで祈るのに、遠くにいる人に働くことができるのが祈りだ。これを教えたが、この力が皆さんの産業とレムナントの学業に働かれる。</p> <p>2. 次世代を 1) 奴隷 2) 戦争 3) 捕虜 4) 属国 5) 流浪の民に送ってはならない</p> <p>3. 神殿で回復すること</p> <p>1) カデシュ・バルネア-次世代に完全に勝利するように刻印させなさい</p> <p>2) ミツパ運動 3) ドタンの町運動 4) 見張り人運動</p> <p>5) 会堂運動を回復しなさい。</p> <p>□本論_レムナントに教えなければならぬこと</p> <p>1. イエス様が教えてくださったこと</p> <p>1) 変えること-間違っただ祈り、福音運動、イエス様はだれなのか、キリストだけ残った変貌山 (マタ 5-7、13、16-17 章)</p> <p>2) 見つけること-カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋でどんなことが起こったのか</p> <p>3) 味わうこと (3・9・3) 4) 世の中を生かすミッション</p> <p>5) 絶対旅程に行くこと</p> <p>2. 初代教会が味わったこと</p> <p>1) 三つの祭り-五旬節の日になって 2) 237-15 か国の門が開いた。</p> <p>3) 使 2:17-18 預言、幻、夢、多くの門が開いた。</p> <p>4) 使 2:42 聖日に礼拝だけささげたが、すべての答えがみえてくる。</p> <p>5) 使 2:46-47 宮で、家で。神様のみことばが家と仕事場で成される</p> <p>3. 伝道者パウロが味わったこと</p> <p>1) 使 13:1-4 どこへ行っても聖霊の導き、16:6-10 ターニングポイント、19:1-7 神様の力を確認すべきだ。</p> <p>2) 使 17:1 この地に呪いが来る理由、18:4 まことのサミット、礼拝が何か、19:8 まことの祈りの答えは神の国であることをレムナントに説明しなければならぬ。</p> <p>3) 使 13:5-18、16:16-18、19:8-20 だれも癒やせない霊的な病気を癒やし。</p> <p>□結論_237, 5000 種族を招待して、正しく訓練させなければならぬ。</p> <p>1. 教会指導者 2. RT、TK</p> <p>3. 政治指導者を招待してみことばを与えるべき。</p> <p>△すべての教会信徒は、この祈りを続けなさい。皆さんの産業も用いられるだろう。</p>